



梅林堂

# 塩豆大福だより



令和5年  
6月号

## 「有難い塩豆大福ファンの声」

塩豆大福の「羽二重餅米」をコメの種類ごとに試作を続け、先週も試食を繰り返していました。それぞれ微妙にコメの味・こしの強弱、梅林堂の漉し餡との相性などどちらが良いか悩む日々が続いています。

美味しい塩豆大福を創ろうと心に決めて20年以上が経ちましたがお菓子はいわゆる規格品ではないので常に試行錯誤です。「菓子は生き物」と言われていますがその通りだと思います。

そんな中、日頃ろくにお世辞も言い合わない近い知人や友人の方から、「お宅の塩大福 うまいよね!」と。心の中で「いやいや塩大福でなく塩豆大福なんですけど。」と思いながら本当に嬉しく思うのです。つい、「こうしてああして こだわり抜いて造っているんですよ!」と講釈を並べたい気持ちをぐっと抑えて「そうですか。有難うございます」。

他にもたくさんのお客様の塩豆大福美味しいぞ!というお声は私たちに美味しいお菓子を造り続ける力強い勇気を頂いております。

先日、当社企画室のSNS担当チームから「あるお客様が塩豆大福の唄を作ってくれたようです!」との報告を受けました。Instagramに上げられているので私も聞いてみました。

聞くと皆笑顔になれるなんとも微笑ましい唄でした。菓子屋で造っているお菓子に唄を添えてもらえるなど思いもよらぬ嬉しいことです。

その中で「ガラスケースの片隅に1つだけ残っていた」という歌詞があります。

「ああ一つ塩豆大福残っていたぞ!」と思われた瞬間に残念ながらその前のお客様がその1個を買われてしまいお買い上げになれなかった悔しい思いを歌った歌詞のようです。それを聞いた途端、私の中では今まで試行錯誤を重ねて来た思い出が走馬灯のように頭の中をくるくる巡りました。お買い上げ頂き召し上がるお客様の気持ちと造り手の気持ちがその一つの塩豆大福に凝縮されキラキラ輝いている様に思えたのです。この歌詞のようにお買い上げになれなかったお客様には申し訳なく思うのですが、人の世の悲喜こもごもはそんな日常の中にある一コマで、そこに関われる菓子屋として有難いと思うと共に“美味しいは 笑顔をつくります”を胸に更に精進していく勇気ももらったように思っています。



株式会社梅林堂 代表取締役 栗原良太

このおいしさ もっともっと知ってほしいから

## 毎月22日は 塩豆大福の日

塩豆大福 **2割引**  
2個入・3個入・5個入

数量限定  
塩豆大福 丹波大納言

塩豆大福の日限定販売 4個入 720円(税込)

6月22日(木) 塩豆大福の日

# 塩豆大福

丹波大納言

丹波大納言は小豆の最高峰。  
俵形に大きく実り、甘く風味豊か  
薄皮なので口当たりがなめらかです。  
その特徴を活かし炊き上げたつぶ餡を  
最高級の羽二重餅で包みました。  
22日数量限定で販売いたします。



4個入 720円(税込)



“美味しい”は笑顔を作ります



梅林堂